

N I E 実践報告

霧島市立国分小学校

1 はじめに

本校は、霧島市の中央に位置し、今年で141周年を迎える全児童813名の学校である。

今年度より、NIE実践指定校として研究をはじめて1年目である。新聞を活用することは、学力の向上につながるとともに、子どもたちの世の中の出来事に関する興味・関心を高めていけると考え、全学年で実践に取り組んでいる。

2 テーマ

新聞に親しみ、主体的に活用する子どもの育成

3 実践内容

- (1) N I Eタイム（ファミリーフォーカス）の実施
- (2) N I Eコーナー(新聞閲覧)の設置
- (3) 情報・掲示委員会としての取り組み
- (4) 授業の実践
- (5) 新聞社(ひろば覧)への投稿

4 研究の実際

(1) N I Eタイムの実施

月1回、朝の活動の時間に「N I Eタイム」を設定し、新聞を活用した取組を行った。内容は、それぞれの学年の実態を考慮しながら取り組んだ。さらに、その時間に使ったワークシートを学年・学校の掲示板に掲示し紹介することで、次の活動への意欲化を図った。

〈実践例〉

[低学年]・・・新聞から知っている字を探して印をつける。(平仮名・カタカナ・漢字)
四コマまんがの吹き出し(セリフ)を、イメージを膨らませながら書く。

☆活動の様子☆



☆掲示板☆



[中学年・高学年]・・・①新聞記事を読み、その記事に対する自分の思いや考え等を
100字から150字程度の文章で書く。

②新聞記事をもとに作られたワークシートの問題を解く。

☆活動の様子☆



☆掲示板☆



(2) N I Eコーナー(新聞閲覧)の設置

本校4棟2階にあるオープンスペースに新聞閲覧コーナーを設置し、子どもたちが進んで新聞を読める環境をつくった。朝の時間や昼休みの時間を中心にN I Eコーナーに集まり、じっくり時間をかけて新聞を読んでいる姿が見られた。新聞は、新聞社ごとに分けて、日付順に並べてあり、自由に手に取って読むことができる。それ以前のものは、ロッカーに保存し記事をさかのぼって探せるようにしている。



(3) 情報・掲示委員会としての取り組み

情報掲示委員会の活動の一環として、「今月の喜怒哀楽」と題し、「喜・怒・哀・楽」の4つのテーマから選んだ記事をもとに、見出しと感想等を書き、NIEコーナーに掲示した。国分小の子どもたちが、どんなことに興味をもっているか考えながら記事を探し、関心をもって読んでもらえるように感想を書いていた。

☆活動の様子☆

☆今月の「喜怒哀楽」☆



(4) 授業の実践

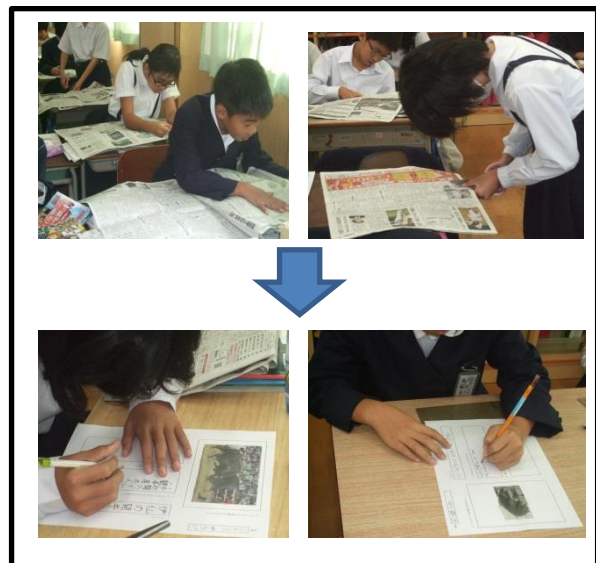
(ア) 教科

① 4年生の実践（国語科）

「アップとルーズで伝える」

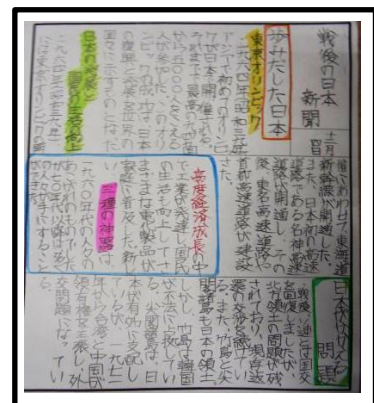
新聞や雑誌に使われている写真を見て、興味のある写真を選び、写真からよく分かることや、その写真を選んだ人の考えやねらいを考え、ワークシートにまとめる。

多くの新聞の中から、興味の惹かれる記事を熱心に探す姿が見られた。



② 6年生の実践（社会科）

6年生では、社会科(歴史)で学習したことのまとめとして、歴史新聞を作成した。新聞を作成する上で、大切なポイント(見出しのつけ方・5W1H)を指導した。社説では、戦争に対する自分の考えや平和を願う思いなどが書かれていた。完成した新聞を互いに交流することで、学習したことをさらに深めることができた。



(総合的な学習の時間)

第5学年の総合的な学習の時間「情報を発信しよう」の単位では、「霧島を知りたい！伝えたい！広めたい！」をテーマに新聞づくりを行った。まず、どんな情報を知りたいかを家族や周りの人にインタビューし、それをもとに調べ学習や取材を行い、記事を書いた。その後、南日本新聞社の中原記者に来校してもらい、編集会議を行った。子どもたちはそれぞれ持ち寄った情報を伝え合い、「一番伝えたいこと」を明確に表している記事を選び、新聞構成を話し合った。構成の仕方や見出しの工夫のアドバイスにより、自分たちの考えを明確にすることができたようだ。この新聞づくりを通して、地域を知り、相手に伝える大切さを学ぶことができた。



(5) 新聞社(ひろば覧)への投稿

新聞に親しみをもつために、「ひろば」への投稿を行っている。掲載されることで、新聞をより身近なものに感じている様子が見られた。

5 成果と課題

[成果]

- N I E タイムの取組や、各学年の作品掲示を通して、子どもたちが新聞に興味・関心をもつとともに、文章を読んで自分の考えを書く力が身についた。
- N I E タイムの取組の1つである「ファミリーフォーカス」を通して、親子で意見を出し合い、考えを深める活動ができた。また、親子のコミュニケーションを深めることができた。
- 社会科や総合的な学習の時間で調べたことを新聞にまとめる学習を通して、調べてわかったこと、考えたことをわかりやすく表現する力を高めることができた。
- N I E コーナーを設置し、環境を工夫することで、子どもたちが新聞をより身近に感じられるようになり、子どもたちの社会の出来事に対する興味・関心が高まった。

[課題]

- 学年ごとのN I E 担当の連携をより密なものにし、各学年の発達段階に応じた新聞活用について、常に共通理解を図っていく
- 新聞社とより連携を図りながら、より多くの教科・領域で、新聞を活用した授業を、積極的に実践していく必要がある。
- 新聞社(ひろば覧)への積極的な投稿を継続していきたい。
- これまでの取組を継続して実践していくとともに、さらなる新聞活用の研究を重ね、子どもたちの学力向上に根ざした取組を新たに実践していきたい。